

助成事業実施報告書

団体名 認定 NPO 法人青少年の自立を支える会シオン

代表者・役職名 氏名 水野 洋

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

調理環境の整備修繕事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当法人は平成 10 年に特定非営利活動「子どもの研究所」として開所致しました。その後平成 12 年に法人化しております。平成 22 年に NPO 法人「青少年の自立を支える会シオン」に法人名を変更。平成 29 年には認定 NPO 法人「青少年の自立を支える会シオン」に法人名を変更。現在会員数として 105 名の会員にご協力になっております。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ホームでは現在6名の子どもが在籍しています。子どもたちは朝早くから仕事に出かけ、夜遅くに帰宅する子どももいます。その子どもたちに、温かい食事と決まった時間にきちんと食事を提供したいのですが、難しい状況です。子どもたちの食事が、楽しい時間であるようにするために、環境を整え、おいしい食事を提供し、活力を与えることを目的としています

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. ガスコンロ及び換気扇の交換
2. 電子レンジの交換
3. キッチンカウンターの修理

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

調理環境の整備により、職員の調理にかかる時間が短縮されただけでなく、子どもが調理に積極的に関わる様になりました。コンロを新調した事により職員の調理の質が向上し挑戦する料理の幅が広がり、子どもから提供する料理の質が向上したという声が多く上がる様になりました。また今までコンロの火が付かないかもしれないという不安もなく、火力も強くなりました。キッチンカウンターも交換し色が明るくなり、食堂や調理場が明るくなりました。電子レンジも新しいものになり機能が増え、子どもから大変好評です。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後の展望として現在は調理は職員が中心に行っていますが、今後調理に興味がある子どもや一人暮らしを擦る子どものために職員と子どもが共同となり調理を行い考えております。今後の展望を考えた上での課題として、職員の調理の手際や質の向上が必要になってくると共に子どもが安心して調理ができる様な職員の対応や知識が必要になってくると考えております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

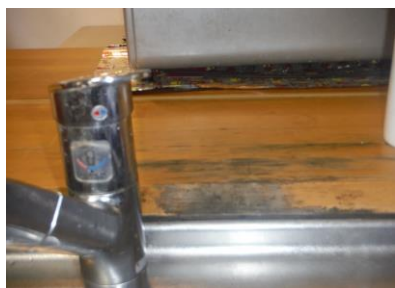
変更前(ガスコンロ)



変更後(ガスコンロ)



変更前(キッチンカウンター)



変更後(キッチンカウンター)



変更前(換気扇)



変更後(換気扇)



変更前(オーブンレンジ)



変更後(オーブンレンジ)

